

特集Ⅴ

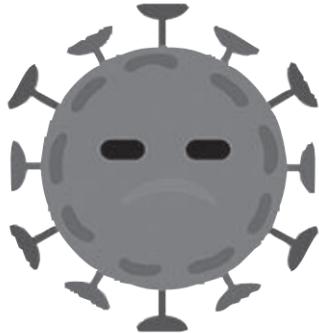
特集 免疫賦活・抗ウイルス

新型コロナウイルスの世界的なパンデミックが続く中、免疫賦活・抗ウイルスを訴求する健康食品への需要も拡大が続いている。今年8月には「免疫機能を維持する」機能性表示食品が初めて受理されたことも大きな話題となり、新たなエビデンスの取得に乗り出した企業もあるようだ。海外のみならず国内でも食品成分を用いた新型コロナウイルスに対する研究が始まりつつあり、今後の成果が注目される。

コロナ禍背景に需要拡大続く
今こそ試される健康食品の実力

コロナ禍で健康食品のエビデンスに脚光

本紙でも度々報じてきた通り、新型コロナウイルスの感染拡大によってビタミン・ミネラル、乳酸菌、プロポリス、食物繊維、マヌカハニーなどをはじめとする免疫関連の健康食品が大きな注目を集め、一部では特需とも言える売り上げ増加を見せた商品もあるようだ。



機能性表示「免疫の維持」表現で研究が活発化

そして、免疫関連では今年8月7日にキリン「イミューズ」シリーズが「免疫機能を維持する」との表示で機能性表示食品として受理されたことは大きな話題となった。これまでにグループ企業のファンケルや小岩井乳業の製品を含めて11製品(10月末時点)が受理されており、今月上旬から順次発売となる予定だが、消費者へのプロモーションなど同社の今後の販売戦略も注目される。加えて、大手乳業メーカーや製薬会社などを筆頭に免疫関連での機能性表示を目指す動きもあるため、第2号、3号製品の届出受理にも期待がかかる。

当然、新型コロナへの便乗商法には十分注意が必要だが、健康維持や免疫力に対する社会的な関心が非常に高まっている今こそ健康食品が果たすべき役割も大きいはずだ。

届出受理に至るまでのハードルは極めて高いとの見方もあるが、これまで不可能と言われていた免疫に関する機能性表示の突破口が開かれたことで、既存のデータの掘り起こしだけでなく新たに免疫関連のエビデンス取得を検討している企業も多いという。

米国では新型コロナウイルスに感染したドナルド・トランプ大統領がビタミンDと亜鉛を服用したとの報道もあり、すでにコロナ対策としてのサプリメントの活用は一般的になりつつある。

国内でも新型コロナウイルスに関する研究に乗り出す企業は増えており、健康食品の実力をどこまで示すことができるか、その手腕が試されている。

各社動向

マヌカハニー

α・オリゴ糖との組み合わせで相乗効果を期待 シクロケム

シクロケム(東京都中央区、03-6262-1511)は、昨夏に「コサナ・ニュージラ」を設立し、自社ブランドのマヌカハニーの取扱いを開始した。ニュージラ産マヌカハニーは、特徴成分としてMGO(メチルグリオキサール)を豊富に含み、長崎大学の研究ではコロナウイルスと同じくエンペロップ型であるインフルエンザウイルスを抑制する作用が確認されている。

マヌカハニーに含まれるMGOはたんばく質を糖化・変性させる働きを持つため、ウイルスが細胞に侵入する際に働くスパイクタンパクや細菌の遊泳に必要な鞭毛に作用し、抗ウイルス・抗菌効果を発揮する。

一方、同社が取り扱うα・オリゴ糖(α-シクロデキストリン)は細菌の細胞壁やウイルスのエンペロップを形成する脂質を包接して溶かす働き(溶菌作用)を持つため、マヌカハニーと組み合わせることでもたんばく質と脂質の双方に作用し、より相乗的な抗ウイルス効果を生み出すことが期待できるといふ。

同社では、マヌカハニーとα・オリゴ糖を組合わせて粉末化した独自原料「マヌカハニーα-オリゴパウダー(MAP)」を開発しており、サプリメントや食品、化粧品、マウスケア用品など幅広い分野に向けて提案を行ってきた。

特に、コロナ禍で世界的に需要が高まっている抗ウイルスや抗菌作用については高い効果が期待できるため、原料供給やOEM提案にも一層注力していく方針だ。

なお、同社では同じく抗ウイルス作用が期待できる素材として、NZ産プロポリスの供給にも力を入れている。同素材に含まれるゴヒー酸フェネルエステル(CAPE)については、新型コロナウイルスの抑制作用を示唆する論文が複数発表されており、現在はピト試験などより深い検討を進めているという。

同社では、プロポリス10g当たりCAPEを30mg以上で規格化した独自原料「NZCAPE30」および同素材をγ-シクロデキストリンで包接し安定性を向上させた「CAPE-γ-CD包接体」を供給している。

11月18日(水) 海外WEBセミナー第2弾開催!

東南アジアのゲートウェイ・シンガポールの越境 EC 市場参入へ!
~現地コンサルタントが市場動向や参入へのノウハウなどを解説~

【日時】11月18日(水) 15:00 公開 (90分程度)
※当日の21:00まで動画視聴可能です(ライブ配信ではございません)。
【内容】健康食品のシンガポール市場の優位性および概況、日本製品の越境 EC の事例および参入方法
【費用】受講料:5,000円(税別)※受講・資料を含む
【申し込み締切】11月16日(月)17:00
【視聴料お支払い期日】11月17日(火) 正午
※お申込みを確認後、後日ご請求書をお送りいたします。
※お支払いを確認後、聴講に必要なアドレスおよび資料をお申込みいただいたメールアドレス宛に送付いたします。
※支払期日までのお支払いが難しい方は、弊社経理までご一報ください。
※11月13日までにお支払いのお客様に16日に視聴用のアドレスをお送りいたします。
※それ以降にお支払いいただいた方には18日の正午までに視聴用アドレスをお送りします。
【主催】(株)ヘルスビジネスマガジン社

◎プログラム(講演はすべて日本語で行います)
【挨拶・報告】(30分程度)
「シンガポールの健康食品市場の概要・法令について」
(株)ヘルスビジネスマガジン社 代表取締役社長 大矢 均
シンガポールにおける健康食品市場の概要、健康食品の制度について解説します。
【シンガポール健康食品市場と参入について】(50分程度、日本語)
「シンガポールでの「越境 EC」による市場アプローチ、日本製品の販売支援サービス」アクセス AP シンガポール(シンガポール現地コンサル企業(台湾系))ダニエル・クオック氏海外で日本製品販売の支援をしてきたアクセス社のダニエル・クオック氏が、シンガポール市場の優位性、現地での日本製品販売およびWEBサイト運営の事例・実績、日本企業とのタイアップによる催事販売、マレーシアなどへの展開支援など新規参入を目指す日本企業に向けて具体的に解説します。



WEBセミナー聴講希望の方は弊社HPよりお申込み下さい! https://health-mag.co.jp/apply/